

2012 年度 情報科学序論 レポート 5

学生用

学籍番号： _____

氏名： _____

下記の注意事項を守り、次ページ以降の問いに答え、レポートを完成させなさい。

提出期限： 2012 年 12 月 21 日 (金) 13:00 まで

提出場所： 理学部棟 正面玄関内に設置のレポートボックス

注意事項：

- (1) このページを印刷し、必要事項を記入の上 (学籍番号欄と氏名欄は 2 箇所あるので忘れずに記入すること)、レポートの表紙として提出すること。
- (2) ~~文章処理ソフトウェアや図形処理ソフトウェア等を駆使してレポートを作成し (問→解答→問→解答→… の順になるように記述すること)、A4 サイズの用紙に印刷して提出すること (手書きは不可)。~~
- (3) クラスメイトのレポートを参考にしたり、クラスメイトと協力してレポートを作成した場合は、教員控の協力者氏名欄にクラスメイトの氏名を記入すること。これらの場合も、自分の言葉で表現し直すこと。**コピー禁止。**
- (4) 情報科学序論について、あなたの声を聞かせてください (教員控の意見・質問欄に記入のこと)。気軽にどうぞ (成績には一切影響しません)。

出題者： 幸山 直人

出題日： 2012 年 12 月 15 日 (土)

得点：

/ 6

----- 切り取り線 -----

2012 年度 情報科学序論 レポート 5

教員控

学籍番号： _____

氏名： _____

協力者氏名： _____ , _____ , _____

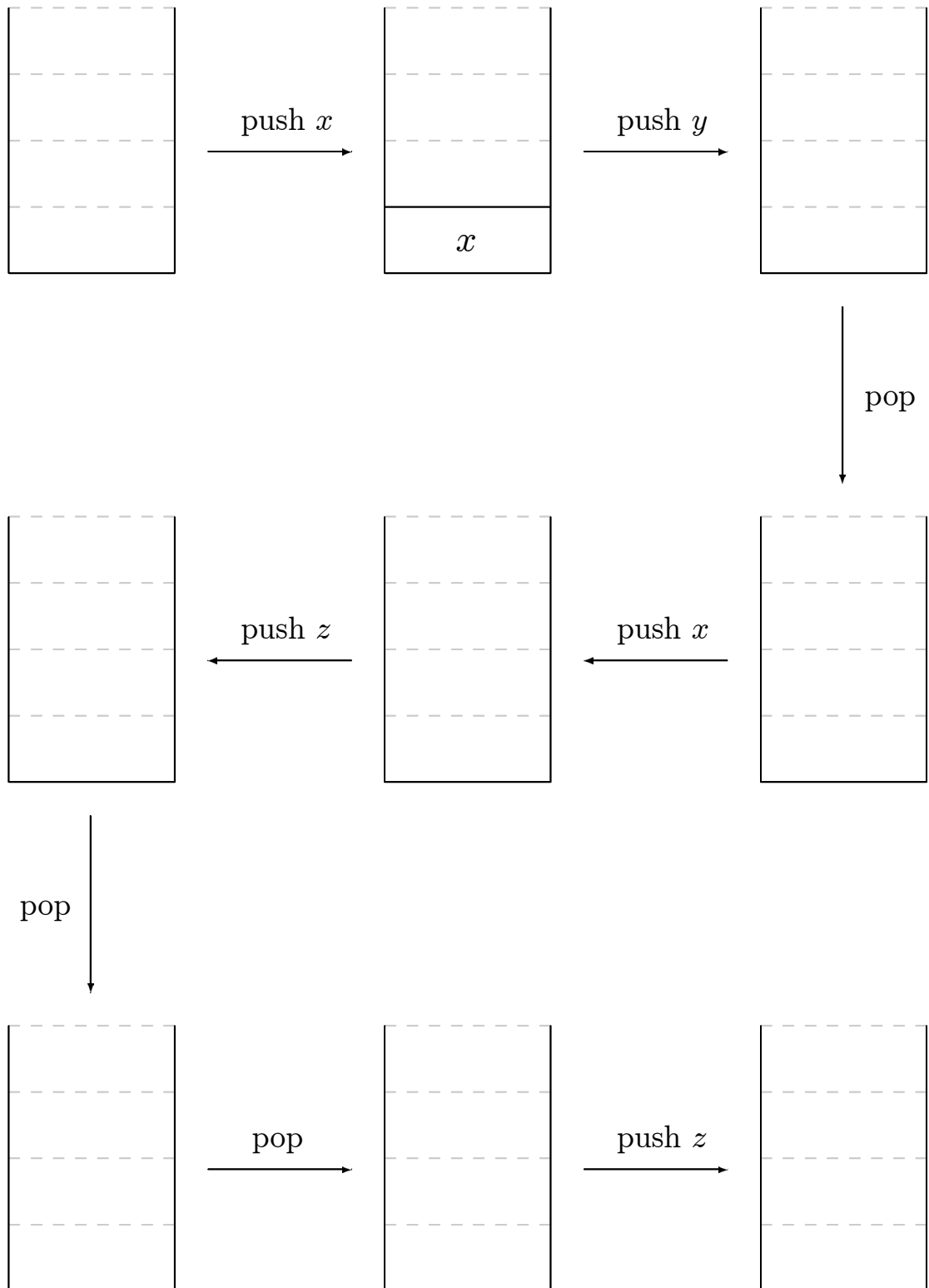
レポート作成に要した時間： _____ . _____ 時間

得点：

/ 6

意見・質問：

問 1 下記の図はスタックの動作を模式化したものである。指示にしたがって図を完成しなさい。(1点)



問 2 以下の文章はオペレーティングシステム (OS) について述べたものである。空欄に適切な語句を入れ文章を完成しなさい。(1 点)

(1) オペレーティングシステムは、人間がコンピュータを効率的良く利用するためのソフトウェア群で、ハードウェア資源の有効活用・コンピュータ操作と運用の支援・信頼性と安全性の確保などの目的を実現する。そのため、オペレーティングシステムは と呼ばれる。

(2) 狭義のオペレーティングシステムは、オペレーティングシステムの中心となる本体プログラムである を差し、ジョブ管理・タスク管理・データ管理・記憶管理・通信管理などを行う。さらに、ユーティリティ (サービスプログラム)・言語プロセッサ・ミドルウェアなど含めたプログラム群を広義のオペレーティングシステムと呼ぶ。

(3) 現在利用されているモダンなオペレーティングシステムの主な特徴は、タイムシェアリングシステム (TTS; 時分割システム) と仮想記憶方式で、これらはケン・トンプソンとデニス・リッチーによって開発された UNIX の影響を多分に受けている。特に、タイムシェアリングシステムはマルチユーザとマルチタスクを実現し、複数の人が複数の仕事を平行して進行することが可能となった。また、デバイスドライバー (ハードウェアに対して) やライブラリーモジュール (ソフトウェアに対して) により、非常に汎用性の高いコンピュータとなっている。

(4) オペレーティングシステムが提供するユーザインタフェースには、マウスなどを使って人間が直感的にコンピュータを操作できる とコマンド (文字列) を入力してコンピュータを操作するキャラクタユーザインタフェース (CUI) がある。現在は、前者のおかげで誰もが容易にコンピュータを扱うことができる。

問 3 以下の条件を守り、ビデオを見た感想を 800 文字以上で述べなさい。(4 点; 200 文字あたり 1 点)

条件 1. 手書き不可。学籍番号・氏名・感想文・条件 3 の文字数を A4 用紙 1 枚に印刷すること。

条件 2. 条件 1 で作成した A4 用紙 1 枚を本レポートの最終ページの後に添付すること。

条件 3. 感想文本文の文字数を記入すること (句読点や括弧も文字数に入れてよい)。

条件 4. 起承転結に留意し、論旨を明確にすること。

注意：感想文は今後の授業の参考にするため返却しません。幸山が厳重に保管します。